

事例
No.083**年末『親子三代餅つき大会』****《組織について》**

新南小学校PTA・学校の先生・民生委員・児童委員スタッフは約40名
参加者約250名

《組織の設立経緯》

平成18年9月 子どもセンターさんより餅つき大会の話があり、子どもを中心に父・母・地域のおじいさん・おばあさんを含む三代餅つき大会が開始されました。子ども達に杵の餅つき体験をしてもらい、祖父母・親子・学校一体となったイベントです。毎年12月の第一土曜日に実施しています。

活 動 内 容

前日よりPTAの方々は餅つきの準備を行い、もち米を約20臼洗います。民生委員・児童委員は主任児童委員を中心に前日よりぜんざいの調理、味付けを実施します。当日はPTAの女性は受付、もち米蒸し等を担当、PTA男性は臼の担当を行います。餅のつき方はおじいさんに指導を仰ぎ、小槌・大槌を教わります。数年前から、ヨモギ餅も加わりました。民生委員・児童委員は前日のぜんざいを温めるコンロの設置等、わん・箸等の準備、焼き餅のコンロの準備等ぜんざいを全て担当します。キナ粉が各自味付けを行い持参願っています。参加者への提供は全て無料で行っています。地区民生委員・児童委員協議会は共催として事業費から搬出又、地区少年補導委員会からも助成を願っています。

工 夫 ・ 問 題 点

餅つき大会は野外で行っています。当日の天候に左右されヤキモキします。過去、一度雨になり学校側の配慮で渡り廊下で実施しました。子どもたちに稲作（餅の稲毛）の植えかた刈り入れ、ヨモギ取り等、機会があれば経験させてあげたいと思います。毎年、12月の第一土曜日に実施しています。地域の方々の参加をより多く望みます。

活 動 予 定

現在まで問題なく実施してきました。今年も実施する予定です。
平成26年度は平成26年12月6日予定。

その他写真等

